

季節的に低調な四半期に実質ベースで 13.7%成長
大型案件の締結額は過去 8 四半期で最高の 33 億ドル
2023 年度の収益予測を 16.0%~16.5%に修正

バンガロール (インド) – 2023 年 1 月 12 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーであるインフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、第 3 四半期の業績が好調で、実質ベースの成長率は前年比 13.7%、前四半期比では 2.4%でした。実質ベースの前年比成長率は大半の事業セグメントおよび地域で 2 桁成長となりました。大型案件の第 3 四半期の合計契約金額は過去 8 四半期で最大の 33 億ドルとなりました。デジタル事業は総売上高の 62.9%を占め、実質ベースで 21.7%成長しました。当期の営業利益率は回復力を維持し、21.5%でした。2023 年度の収益予測は 16.0%~16.5%に修正され、2023 年度の利幅予測は 21%~22%を維持しています。

当社 CEO 兼 MD の Salil Parekh は、「当四半期はデジタル事業とコアサービスが伸び、売上高が順調に伸びました。これは、当社が顧客にとって必要とされており、業界トップのデジタルやクラウド、自動化の能力を持ち、当社の従業員が絶えず努力をしていることの証です」としたうえで、「大型案件の締結が好調であることからわかる通り、当社は顧客にとって信頼できる変革と運用のパートナーとして、市場シェアを獲得し続けています。当社がグローバルな規模であらゆる機能を網羅している点が、顧客がベンダーを一本化する際に好まれる要因となっています。今後もデジタルの課題解決を加速することを重視し、企業の新たな価値や成長を見出すとともに、運用効率やコスト効率を改善していきます」と述べました。

前年同期比 21.7% 実質ベースのデジタル成長率	前年比13.7% 前期比2.4% 実質ベースの収益成長率	21.5% 営業利益率	前年同期比 13.4% EPS の増加 (ルビ-建て)	33億ドル 大規模取引締結
---	--	-----------------------	---	-------------------------

1. 主な業績

2022 年度第 3 四半期

- 売上高は実質ベースで前年比 13.7%増、前期比 2.4%増
- 報告売上高は 46.59 億ドル、前年比 9.6%増
- デジタル売上高は総売上高の 62.9%、実質ベースで前年比 21.7%増
- 営業利益率は 21.5%、前年比 2.0%減、前期比では横ばい
- 基本 EPS は 0.19 ドル、前年比 3.3%増
- フリーキャッシュフローは 5.76 億ドル、前年比 19.9%減、フリーキャッシュフロー・コンバージョンは純利益の 72.0%

2022 年度第 1~3 四半期

- 売上高は実質ベースで前年比 17.8%増
- 報告売上高は 136.57 億ドル、前年比 13.5%増
- デジタル売上高は総売上高の 61.9%、実質ベースで前年比 29.5%増
- 営業利益率は 21.0%、前年比 2.6%減
- 基本 EPS は 0.53 ドル、前年比 1.7%増
- フリーキャッシュフローは 18.21 億ドル、前年比 20.6%減、フリーキャッシュフロー・コンバージョンは純利益の 81.4%

最高財務責任者（CFO）である **Nilanjan Roy** は次のように述べました。「第3四半期の営業利益率は、コスト最適化により、季節的な営業数値の低下による影響を緩和できたことで持ちこたえました。人員の減少は当期は大幅に減り、短期的にはさらに減る見通しです。」

2. 資本配分

当社は、取締役会の助言に従い、株主の郵便投票による承認を経て、2022年12月7日に公開市場を通じた自社株買いプログラムを開始し、これまでに約479億ルピー相当（約60億ドル）の3,130万株、すなわち、930億ルピーの授権株式総数の51.5%を1株当たり平均約1,531ルピーで買い戻しました（最大買い取り価格は1株当たり1,850ルピー）。

*参考為替レート：1ドル=82ルピー

3. 顧客の獲得と証言

- 当社は Centric Brands により、デジタルや IT、業務運用、変革サービスを提供する戦略的技術パートナーに選ばれました。当社はコグニティブファーストな IT フレームワークと業界をリードするデジタル、コグニティブ AI、クラウド、小売業界ソリューションのアクセラレータを駆使して、技術ランドスケープの改善と変革に取り組みます。**Centric Brands のグローバル CFO である Anurup Pruthi 氏**は次のように述べています。「インフォシスと提携することで、社内プロセスを標準化し、ベストプラクティスやツールを取り入れ、小売 B2B 市場で成功し続けるのに必要なスキルの強化を図ることが可能となります。」
- 当社は、世界的なバッテリー技術企業の電気自動車（EV）用バッテリー製造工場である Envision AESC において、クラウドベースのプラットフォームを開発し、手作業プロセスのデジタル化と自動化を支援しました。**Envision AESC のグローバル製造およびサプライチェーン部門のエグゼクティブ・バイスプレジデントである Brian Sullivan 氏**は次のように述べています。「Envision AESC のバッテリー技術の進歩は EV 革命を新たな高みへと押し上げるでしょう。当社の革新的なバッテリーの製造工程には、イノベーションを加速し、拡大する堅牢なデジタルの土台が必要です。インフォシスがその信頼性の高いクラウド技術と自動車業界に関する豊富な知識で、当社の変革目標達成への道のりを支えてくれると信じています。」
- 当社は Microsoft と共に Spark New Zealand のコーポレート機能を近代化し、事業の回復力や業務の簡素化、職場の機動性、顧客体験の向上を図りました。**Spark の最高執行責任者（COO）である Mark Beder 氏**は次のように述べています。「当社は業務プロセスの刷新とレガシーシステムからの脱却に着手するにあたり、ERP を中心とした業務変革に向けて当社のビジョンを理解し、さらに優れたものにしてくれるパートナーを探していました。インフォシスと Microsoft は素晴らしい変革パートナーとです。両社が提供する ERP の実装に関する豊富な専門知識とスケールの大きさ、また、それを支える最適なデジタルソリューションとリソースは、レガシーシステムの制約を解き、業務を簡素化し、職場の機動力と顧客体験を向上させるのに役立っています。」

- 当社は、工業、宇宙航空、防衛市場に基幹フロー制御製品やサービスを提供する世界的大手 CIRCOR と提携し、同社の IT ランドスケープの変革と IT インフラの近代化を行いました。**CIRCOR の最高情報責任者 (CIO) である Pete Sattler 氏**は次のように述べています。「インフォシスとの提携の目的は、当社の内外すべてのお客様に対するサービスのスピードアップと信頼性の向上、サイバーセキュリティの強化、およびグローバル IT 環境の 24 時間監視体制の確立です。」
- 当社は Natura グループ傘下の Avon と、同社のデジタル変革の促進、コグニティブオペレーションの導入、継続的イノベーションの推進、顧客サービスの向上を目的とした 5 年間の戦略提携を結びました。**Avon の CIO である Karen McElhatton 氏**は次のように述べています。「インフォシスは今回の提携を通して、当社のデジタルビジョンの実現を加速します。このために、良く練られた変革ロードマップを用いて、経費削減やアプリケーションのランドスケープの回復力と信頼性の向上を図ります。また、新たなデジタル機能にスムーズに対応できるようにするための準備も行います。インフォシスの持つインフラ管理サービスやサイバーセキュリティ、アプリケーションサービスに関する高い専門性を生かすことで、当社は引き続き、最先端のサービスを会員やお客様に提供し続けられるようになると確信しています。」
- 当社は Conagra と、同社の IT 運用のイノベーションを目的とした 5 年間の戦略提携を締結しました。当社は Conagra と共に、製品ベースのコグニティブファーストなデリバリーモデルを導入する予定で、業務運用の改善と継続的イノベーションの推進に重点を置き、とりわけ、同社の顧客サービスの質の向上に力を入れます。**Conagra の CTP である Andy Xydakis 氏**は次のように述べています。「当社は IT 運用の方法を変えたいと思っていました。チームが価値の提供に注力できる本当の意味でアジャイルな（機動性の高い）方法への転換です。インフォシスと提携したことで、当社はこのビジョンの実現に近づくでしょう。なぜなら、インフォシスは豊富な業界知識に加え、この新たな業務形態を当社の事業戦略全体をサポートできる形に調整する力を持ち合わせているからです。インフォシスは今回の提携において、機能提供のキャパシティの創出や、インフラとアプリケーションランドスケープの回復力と信頼性の向上を図ることにより、当社の製品ベースの継続的デリバリーオペレーティングモデルの導入を加速します。これにより、当社のデジタル機能はより進化していくでしょう。」

4. 表彰

- Great Place to Work® Certification をインド、オーストラリア、英国、ドイツ、メキシコを含む 5 つの地域で獲得、Infosys BPM が Great Place to Work® Certification をフィリピンで獲得
- Inclusion in the Most Inclusive Companies Index (MICI) のチャンピオンを獲得、2022 年に Avtar と Seramount の「100 Best – Hall of Fame」に掲載
- CDP の年間 A List' for its leadership in corporate transparency and performance on climate change で入賞
- 米 DiversityInc 社による「Most Noteworthy（最も注目すべき）」企業に選出
- 2022 年の Dow Jones Sustainability World Index for 2022 の構成銘柄

- Infosys InStep が Vault の 2023 年インターンシップランキング「Best Internship Program」にランクイン
- Infosys Cobalt が Information Technology Services Marketing Association (ITSMA)の2022 Marketing Excellence Gold Award を受賞
- 顧客である Lanxess と共に、2022 ISG Paragon Awards™ EMEA の「Workplace of the Future」部門で受賞
- Gartner 社の Magic Quadrant for IT Services for Communications Service Providers, Worldwide でリーダーの評価
- Forrester Wave™の Cloud Migration and Managed Service Partners in Asia Pacific, Q4 2022 でリーダーの評価
- IDC MarketScape の Asia/Pacific Salesforce Implementation Services 2022 Vendor Assessment でリーダーの評価
- Everest 社の Software Product Engineering Services PEAK Matrix® Assessment 2023 でリーダーの評価
- Everest 社の System Integration (SI) Capabilities on Google Cloud Platform (GCP) PEAK Matrix® Assessment 2022 でリーダーの評価
- HFS Horizons の Cloud Native Transformation, 2022 でリーダーの評価
- Next-Gen ADM Services 2022 ISG Provider lens™ study in US でリーダーの評価
- IDC Worldwide Manufacturing Service Life-Cycle Management Strategic Consulting 2022 でリーダーの評価
- Everest 社の Workplace Communication and Collaboration (WCC) Services PEAK Matrix® Assessment 2023 でリーダーの評価
- IDC MarketScape の EMEA Industrial Internet of Things Service Providers for Oil and Gas Companies 2022 Vendor Assessment でリーダーの評価
- Everest 社の Application and Digital Services (ADS) in Property & Casualty (P&C) Insurance PEAK Matrix® Assessment 2023 でリーダーの評価
- Everest 社の Risk & Compliance in BFS IT Services PEAK Matrix® Assessment 2023 でリーダーの評価
- Avasant 社の Utilities Digital Services 2022–2023 RadarView™ でリーダーの評価
- Avasant 社の Manufacturing Digital Services 2022–2023 RadarView™ でリーダーの評価
- Infosys Finacle が Everest Group PEAK Matrix® for Wealth Management Products Provider 2023 レポートでリーダーの評価

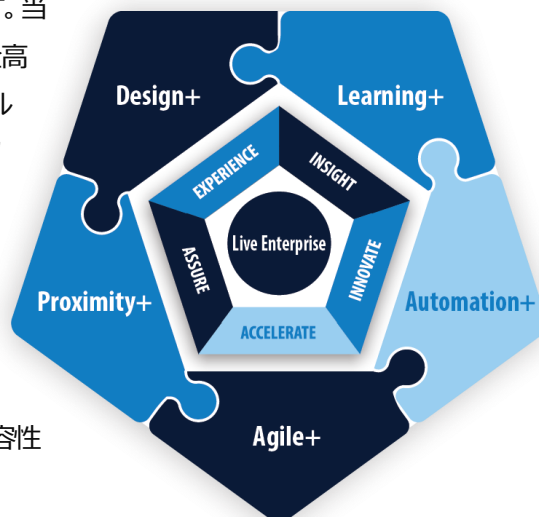
- Infosys BPM が Everest Group の Finance and Accounting Outsourcing (FAO) PEAK Matrix® Assessment 2022 でリーダーおよびスターパフォーマーの評価

インフォシスについて

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングの世界的リーダーです。当社の従業員 30 万人以上が個人や企業、コミュニティの人材の潜在能力を高め、次の機会を創造する取り組みを行っています。40年以上にわたるグローバル企業のシステムや業務管理の経験に基づき、世界 50 か国以上のお客様のクラウドによるデジタル変革を専門家として導いています。この実現には AI を導入したコアを利用しており、企業の力を高めるためにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入しています。また、当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。当社はバランスの行き届いた、持続可能な組織環境づくりに強くコミットしており、受容性の高い職場で多様な人材が活躍しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

DIGITAL NAVIGATION FRAMEWORK



セーフハーバー条項

本リリースには、1933 年証券法の第 21 条 A 項（「証券法」、改正法含む）および 1934 年証券取引所法の第 21 条 E 項（「証券取引所法」、改正法含む）に規定される「将来予想に関する記述」が含まれており、これには多くのリスクや不確定要素が存在しています。将来の見通しに関する記述は、主に、将来の事象または当社の将来の財務もしくは業績に関連するものであり、当社や当社が携わる業界、市況、およびその他の事項に関する当社の現時点での予想、仮定、見積りおよび予測に基づいています。一般に、これらの将来に関する記述は、「may」、「anticipate」、「believe」、「estimate」、「expect」、「continue」、「intend」、「will」、「project」、「seek」、「could」、「would」、「should」などの将来に関する用語が使用されていることから識別することが可能です。これらの記述には、当社の事業戦略に関する声明、市場における地位、将来の事業運営、成長、利益率、収益性、減損、流動性、資本資源に関する当社の期待、当社の ESG に関するビジョン、当社の資本配分方針、COVID-19 の世界経済および当社の事業および業務への影響、賃上げ、米国の移民政策および規程を含む規制の変更、当社の株式買い戻し提案の適時完了を含む企業行動などが含まれます。これらの記述は、既知や未知のリスク、不確実性、その他の要因の影響を受けるため、実際の業績や結果は、将来予想に関する記述とは大きく異なるものとなる可能性があります。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2021 年会計年度（2022 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ

日本オフィス マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com

インフォシス リミテッドと子会社

IFRS に基づく要約連結貸借対照表（抜粋）

（100 万ドル）

	2022 年 12 月 31 日	2022 年 3 月 31 日
資産		
流動資産		
現金および現金等価物	1,401	2,305
短期投資	1,055	880
売掛金	3,343	2,995
未請求収益	1,588	1,526
その他の流動資産	1,366	1,159
流動資産合計	8,753	8,865
非流動資産		
有形固定資産および使用権資産	2,405	2,429
のれんおよびその他無形資産	1,098	1,042
非短期投資	1,497	1,801
未請求収益	206	124
その他非流動資産	1,267	1,294
非流動資産合計	6,473	6,690
資産合計	15,226	15,555
負債および資本		
流動負債		
買掛金	579	545
前受収益	861	834
従業員給付債務	290	288
その他流動負債	3,251	2,766
流動負債合計	4,981	4,433
非流動負債		
リース負債	795	607
その他非流動負債	424	521
非流動負債合計	1,219	1,128
負債合計	6,200	5,561
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,975	9,941
非支配持分	51	53
資本合計	9,026	9,994
負債および資本の合計	15,226	15,555

IFRS に基づく連結包括損益計算書要約（抜粋）

（100 万ドル、株式データおよび 1 株当たり純資産データを除く）

	2022 年度 第 3 四半期	2021 年度 第 3 四半期	2022 年度 第 1 ～ 3 四半期	2021 年度 第 1 ～ 3 四半期
売上収益	4,659	4,250	13,657	12,031
売上原価	3,230	2,856	9,544	8,041
売上総利益	1,429	1,394	4,113	3,990
営業費用:				
販売費	196	177	574	513

	2022 年度 第 3 四半期	2021 年度 第 3 四半期	2022 年度 第 1 ～ 3 四半期	2021 年度 第 1 ～ 3 四半期
管理費	232	219	671	642
営業費用合計	428	396	1,245	1,155
営業利益	1,001	998	2,868	2,835
その他の収益(純額) ⁽³⁾	84	61	229	203
税引前利益	1,085	1,059	3,097	3,038
法人所得税費用	285	283	859	823
純利益 (少数株主利益調整前)	800	776	2,238	2,215
純利益 (少数株主利益調整後)	800	774	2,237	2,211
基本 EPS (\$)	0.19	0.18	0.53	0.52
希薄化後 EPS (\$)	0.19	0.18	0.53	0.52

注:

1. 上記の情報は、2023年1月12日開催の取締役会で記録された2022年度第3四半期および2022年度第1～3四半期の要約された監査済み連結貸借対照表および包括損益計算書から抜粋したものです。
2. 当社の業績に関する概況報告書はwww.infosys.comからダウンロードできます。
3. その他の収益は財務費用が控除されています。
4. 前四半期で報告された数値と当四半期の数値の合計が本報告書に記載の第1～3四半期の数値と一致しない場合があります。これは、全ての数値がソースから取得された後に四捨五入されているためです。